

ページ	大分類	施策番号	施策名称	指標名	現状年度	現状数値	目標年度	目標数値	該当年度	実績数値	事業進捗についての担当者意見
31	1. 産業・観光・定住部門	1-1-1	観光業の振興	観光交流客数	R5	574,607人	R10	800,000人	R6	571,031人	夏季に南海トラフ地震情報が発令されるなど、繁忙期に誘客できなかったことで減少。目標達成に向け、誘客事業等を推進していく。
31	1. 産業・観光・定住部門	1-1-1	観光業の振興	外国人宿泊者数	R5	6,204人	R5	10,000人	R6	9,310人	目標達成に向け順調に推移している。
33	1. 産業・観光・定住部門	1-2-1	農業の振興	新規就農者数	R5	5人	R10	7人	R6	6人	目標達成に向け順調に推移している。
33	1. 産業・観光・定住部門	1-2-1	農業の振興	有害鳥獣等被害防止事業件数	R1～5	77件	R6～R10	120件	R6	13件	現状では目標達成が困難なため、広報・回覧などでの周知を行う。
35	1. 産業・観光・定住部門	1-2-2	林業の振興	私有林間伐面積	R2～R5	272 ha	R6～R10	325ha	R6	105.44ha	目標達成に向け順調に推移している。R6は県事業（森の力）による整備が67haと多かった。
35	1. 産業・観光・定住部門	1-2-2	林業の振興	町有林間伐面積	R2～R5	75 ha	R6～R10	100ha	R6	21.47ha	目標達成に向け順調に推移している。
35	1. 産業・観光・定住部門	1-2-2	林業の振興	森林経営管理法に基づく受託面積	R2～R5	6 ha	R6～R10	15ha	R6	0.84ha	目標達成に向けては長期的な方針・計画が必要。
35	1. 産業・観光・定住部門	1-2-2	林業の振興	木質バイオマス燃料加工・利用施設の設置	R5	0施設	R10	1施設	R6	0施設	議会における契約案の否決により目標達成は困難。
36	1. 産業・観光・定住部門	1-2-3	海業の振興	漁港への集客数	R5	80,188人	R10	100,000人	R6	91,486人	目標達成に向け順調に推移している。
36	1. 産業・観光・定住部門	1-2-3	海業の振興	稚魚等放流の実施	R1～R5	131,800匹	R6～R10	150,000匹	R6	116,000匹	効果の確認ができないヒラメ、アワビについてR6で終了とするため、新たな魚種設定などが必要。
38	1. 産業・観光・定住部門	1-2-4	農林水産物等の流通、消費対策の推進	はんばた市場出荷登録者数	R5	305人	R10末	350人	R6	323人	目標達成に向け順調に推移している。
38	1. 産業・観光・定住部門	1-2-4	農林水産物等の流通、消費対策の推進	はんばた市場来客者数	R5	44,608人	R10	60,000人	R6	49,373人	目標達成に向け順調に推移している。
41	1. 産業・観光・定住部門	1-3-1	中小企業の振興	利子補給制度	R5	実施	R10	実施継続	R6	実施継続	目標を達成しており、引き続き事業を実施していく。
41	1. 産業・観光・定住部門	1-3-1	中小企業の振興	電子地域通貨事業	R5	実施	R10	事業継続	R6	実施継続	目標を達成しており、引き続き事業を実施していく。
43	1. 産業・観光・定住部門	1-4-1	雇用の場の確保と起業の支援	町内で起業した件数	R5	6件	R10	12件	R6	9件	地域おこし協力隊制度の活用により、目標達成に向け順調に推移している。
43	1. 産業・観光・定住部門	1-4-1	雇用の場の確保と起業の支援	サテライトオフィスの件数	R5	2件	R10	3件	R6	2件	目標達成に向け、設置した企業にメリットが生まれる仕組み作りについて検討中。
45	1. 産業・観光・定住部門	1-5-1	交流人口・関係人口の獲得	町民の会への参加者数	R5	53人	R10	70人	R6	51人	目標達成には更なる集客が必要。R7年度においては、同日に移住相談会を実施することにより増加を図る。
45	1. 産業・観光・定住部門	1-5-1	交流人口・関係人口の獲得	姉妹町友好のバス事業の実施	R5	年1回	R10	年2回	R6	年2回	現状で目標を達成。コロナ収束後、富士見町、市川三郷町との交流事業を再開。
45	1. 産業・観光・定住部門	1-5-1	交流人口・関係人口の獲得	国際ボランティア学生協会の学生受入数	R5	1,233人	R10	1,300人	R6	962人	R5の1,233人には、西伊豆町における活動以外の参加者数(役員合宿447人)が含まれていたことから、目標数値の再設定について検討が必要。

ページ	大分類	施策番号	施策名称	指標名	現状年度	現状数値	目標年度	目標数値	該当年度	実績数値	事業進捗についての担当者意見
47	1. 産業・観光・定住部門	1-5-2	移住・定住の支援	移住者数	R5	15人	R10	20人	R6	15人	地域おこし協力隊制度の活用により、目標達成に向け順調に推移している。
47	1. 産業・観光・定住部門	1-5-2	移住・定住の支援	空き家バンクへの登録数	R5	68件	R10	93件	R6	80件	目標達成に向け順調に推移している。
47	1. 産業・観光・定住部門	1-5-2	移住・定住の支援	移住を支援する民間団体の数	R5	なし	R6～R10	1団体	R6	なし	目標達成に向け順調に推移。令和7年度中に地域プロジェクトマネージャーがNPO団体を設立予定。
51	2. 教育・文化部門	2-1-1	教育環境の整備	給食費の無料化	R5	実施	R10	実施継続	R6	実施継続	現時点で目標は達成しており、引き続き事業継続していく。
51	2. 教育・文化部門	2-1-1	教育環境の整備	高等学校等通学費助成金申請者の割合	R5	74%	R10	74%	R6	78%	現時点で目標は達成しており、引き続き制度の利用を促進していく。
52	2. 教育・文化部門	2-1-2	確かな学力の育成	学習者用コンピュータの整備率	R5	100%	R10	100%	R6	100%	現時点で目標は達成しており、引き続き整備率を維持していく。
54	2. 教育・文化部門	2-1-3	国際教育の推進	A L T の専任配置	R5	1校1名	R10	1校1名	R6	1校1名	現時点で目標は達成しており、引き続き体制を維持していく。
56	2. 教育・文化部門	2-1-4	学びのセーフティネットの構築	教育支援センターの設置	R5	実施	R10	実施継続	R6	実施継続	現時点で目標は達成しており、引き続き体制を維持していく。
59	2. 教育・文化部門	2-2-1	文化・芸術、スポーツ活動の充実	指定文化財の登録件数	R5	36件	R10	40件	R6	36件	令和6年度の登録はなかったが、引き続き目標を達成できるよう文化財保護審議会での協議を続けていく。
59	2. 教育・文化部門	2-2-1	文化・芸術、スポーツ活動の充実	文化財展示会来場者数	R5	243人	R10	300人	R6	198人	アンケートにおける満足度は非常に高いため、PR方法の見直しなどにより、来場者数の増加を図りたい。
59	2. 教育・文化部門	2-2-1	文化・芸術、スポーツ活動の充実	ガラス体験助成人数	R5	24人	R10	50人	R6	14人	昨年度に引続き、目標値を大きく下回ったのは、ガラス体験自体の魅力低下やガラス体験助成制度のPR不足が原因だと考えられるため、対策を検討したい。
59	2. 教育・文化部門	2-2-1	文化・芸術、スポーツ活動の充実	軽スポーツ教室への参加者数	R5	63人	R10	100人	R6	80人	誰でも簡単に参加できるポッチャ種目により、子どもや年配者の参加者が増加した。
61	2. 教育・文化部門	2-2-2	地域学習の充実	わんぱくクラブ参加者数	R5	22人	R10	20人	R6	17人	子どもの人数が減少している中、ほぼ目標値を達成できたことから、事業への興味関心は高いと思われる。
61	2. 教育・文化部門	2-2-2	地域学習の充実	親子漁師体験参加組数	R5	24組	R10	30組	R6	24組	参加者が固定化されているため、事業継続に向け、魅力ある募集をし、新規参加者を獲得していきたい。
61	2. 教育・文化部門	2-2-2	地域学習の充実	わくわく体験参加者数	R5	16人	R10	20人	R6	22人	子どもの人数が減少している中、目標値以上の参加者があったことから、事業への興味関心は高いと思われる。
68	3. 防災・安全部門	3-2-1	防災・減災対策の強化	総合防災訓練参加率	R5	28.4%	R10	40.0%	R6	0.0%	台風10号の接近により中止。引き続き参加率向上に向けた取組みを実施していく。
68	3. 防災・安全部門	3-2-1	防災・減災対策の強化	津波避難施設空白域の解消	R5	93.0%	R10	100.0%	R6	94.0%	目標達成に向け、計画通りに進行している。
68	3. 防災・安全部門	3-2-1	防災・減災対策の強化	わが家の耐震診断実施件数	R1～R5	73件	R6～R7	80件	R6	47件	目標達成に向け順調に推移している。
68	3. 防災・安全部門	3-2-1	防災・減災対策の強化	木造住宅耐震補強工事件数	R1～R5	8件	R6～R7	4件	R6	2件	目標達成に向け順調に推移している。
68	3. 防災・安全部門	3-2-1	防災・減災対策の強化	ブロック塀等撤去件数	R1～R5	11件	R6～R10	10件	R6	2件	目標達成に向け順調に推移している。

ページ	大分類	施策番号	施策名称	指標名	現状年度	現状数値	目標年度	目標数値	該当年度	実績数値	事業進捗についての担当者意見
68	3. 防災・安全部門	3-2-1	防災・減災対策の強化	地籍調査達成状況	R5	56.5%	R10	92.8%	R6	75.4%	事業の拡大を図っているため、目標は達成できる見込み。
69	3. 防災・安全部門	3-3-1	消防体制及び施設等の強化	消防団員充足率	R5	77.7%	R10	100.0%	R6	73.7%	人口の減少等により、充足率は埋まらない状態が続いており、定数の見直しの検討なども必要。
70	3. 防災・安全部門	3-4-1	防犯・交通安全対策の強化	犯罪発生件数	R5	19件	R10	0件	R6	15件	減ってきてはいるが、まだ多い状況で、更なる注意喚起が必要。
70	3. 防災・安全部門	3-4-1	防犯・交通安全対策の強化	交通事故件数	R5	215件	R10	100件	R6	159件	減ってきてはいるが、まだ多い状況で、更なる注意喚起が必要。
70	3. 防災・安全部門	3-4-1	防犯・交通安全対策の強化	交通事故死亡者数	R5	1件	R10	0件	R6	1件	1件の死亡事故が発生したことから、更なる注意喚起が必要。
72	3. 防災・安全部門	3-4-2	消費者被害の防止	広報にしいず・防災行政無線を利用した啓発	R5	実施	R10	実施継続	R6	実施継続	目標を達成しており、引き続き被害防止のための啓発を推進していく。
72	3. 防災・安全部門	3-4-2	消費者被害の防止	西伊豆町消費生活研究会との連携による啓発	R5	実施	R10	実施継続	R6	実施継続	目標を達成しており、引き続き消費生活研究会と連携し、啓発を推進していく。
75	4. 健康・福祉部門	4-1-1	健幸づくり事業の推進	高血圧者割合	R4	39.0%	R9	26.0%	R5	35.7%	高血圧者割合は減少傾向にあるが、引続き保健指導を実施していく必要がある。
75	4. 健康・福祉部門	4-1-1	健幸づくり事業の推進	特定健康診査の受診率	R4	41.0%	R9	44.0%	R5	41.4%	未受診者対策の効果もあり受診率は向上した。今後も継続が必要。
75	4. 健康・福祉部門	4-1-1	健幸づくり事業の推進	後期高齢者健診の受診率	R5	14.8%	R10	30.8%	R6	18.2%	未受診者対策の効果もあり受診率は向上した。今後も継続が必要。
75	4. 健康・福祉部門	4-1-1	健幸づくり事業の推進	がん検診受診率 胃がん検診	R3	13.5%	R8	14.0%	R4	13.7%	目標達成に向け、啓発等を強化していく。
75	4. 健康・福祉部門	4-1-1	健幸づくり事業の推進	がん検診受診率 肺がん検診	R3	10.6%	R8	11.0%	R4	11.7%	目標を達成しており、引き続き受診率向上に向け、啓発等を行っていく。
75	4. 健康・福祉部門	4-1-1	健幸づくり事業の推進	がん検診受診率 大腸がん検診	R3	11.2%	R8	12.0%	R4	12.6%	目標を達成しており、引き続き受診率向上に向け、啓発等を行っていく。
75	4. 健康・福祉部門	4-1-1	健幸づくり事業の推進	がん検診受診率 子宮がん検診	R3	19.5%	R8	20.0%	R4	21.8%	目標を達成しており、引き続き受診率向上に向け、啓発等を行っていく。
75	4. 健康・福祉部門	4-1-1	健幸づくり事業の推進	がん検診受診率 乳がん検診	R3	23.9%	R8	24.5%	R4	21.9%	目標達成に向け、課題となっている50歳未満の受診率向上のための取組みを行っていく。
75	4. 健康・福祉部門	4-1-1	健幸づくり事業の推進	歯周疾患検診受診率	R5	22.0%	R10	23.0%	R6	15.9%	対象者が節目年齢のため年代ごとの差があるが、目標達成に向け啓発等を強化していく。
75	4. 健康・福祉部門	4-1-1	健幸づくり事業の推進	骨粗しょう症検診受診率	R5	32.1%	R10	34.0%	R6	17.1%	対象者が節目年齢のため年代ごとの差があるが、目標達成に向け啓発等を強化していく。
75	4. 健康・福祉部門	4-1-1	健幸づくり事業の推進	健幸アプリ事業加入者数	R5	0人	R10	600人	R6	376人	目標達成に向け順調に推移している。
77	4. 健康・福祉部門	4-1-2	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進	後期高齢者健診の受診率	R5	14.8%	R10	30.8%	R6	18.2%	目標達成に向け順調に推移しており、引き続き受診率向上に向けた取組みを実施していく。
77	4. 健康・福祉部門	4-1-2	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進	個別的支援（ハイリスクアプローチ）実施率	R5	未実施	R10	100.0%	R6	94.1%	訪問時不在など実施に繋がらないケースがあり、接触可能な方法を模索する必要がある。

ページ	大分類	施策番号	施策名称	指標名	現状年度	現状数値	目標年度	目標数値	該当年度	実績数値	事業進捗についての担当者意見
77	4. 健康・福祉部門	4-1-2	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進	通いの場への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）実施回数	R5	未実施	R10	30回	R6	34回	目標を達成しており、引き続き事業を実施していく。
79	4. 健康・福祉部門	4-1-3	国保（医療費・保険料・給付費）、介護（保険料・給付費）の適正化の推進	ジェネリック医薬品利用率	R4	85.0%	R10	87.5%	R5	86.6%	目標達成に向け順調に推移しており、引き続き医療機関と連携した取組みを実施していく。
79	4. 健康・福祉部門	4-1-3	国保（医療費・保険料・給付費）、介護（保険料・給付費）の適正化の推進	認定調査委員研修参加人数	R4	3名	R10	3名	R5	5名	目標を達成しており、引き続き事業を実施していく。
79	4. 健康・福祉部門	4-1-3	国保（医療費・保険料・給付費）、介護（保険料・給付費）の適正化の推進	ケアプラン点検件数	R5	1件	R10	4件	R6	9件	目標を大きく上回って達成しており、引き続き事業を実施していく。
79	4. 健康・福祉部門	4-1-3	国保（医療費・保険料・給付費）、介護（保険料・給付費）の適正化の推進	住宅改修の点検、現地調査実施率（申請時に疑義が生じた者）	R4	100%	R10	100%	R5	100%	目標を達成しており、引き続き事業を実施していく。
79	4. 健康・福祉部門	4-1-3	国保（医療費・保険料・給付費）、介護（保険料・給付費）の適正化の推進	福祉用具購入・貸与調査件数	R4	3件	R10	5件	R5	3件	目標達成に向け順調に推移しており、引き続き事業を推進していく。
79	4. 健康・福祉部門	4-1-3	国保（医療費・保険料・給付費）、介護（保険料・給付費）の適正化の推進	国保から後期への移行率	R3	27.0%	R10	30.0%	R4	0.0%	移行勧奨を実施しておらず、個別に案件に対応したため未実施。今後は事業が継続可能となる体制の構築が必要である。
81	4. 健康・福祉部門	4-2-1	高齢者支援体制の促進	住民主体の生活支援サービス登録地区数	R5	2地区	R10	4地区	R6	2地区	支援者側の体制作りが思うように進んでおらず、更なる注力が必要。
81	4. 健康・福祉部門	4-2-1	高齢者支援体制の促進	シルバー人材センター登録者数	R5	104人	R10	110人	R6	104人	加入を希望する高齢者が減少傾向にあることから、募集方法についての工夫なども必要。
81	4. 健康・福祉部門	4-2-1	高齢者支援体制の促進	高齢者サロン数	R5	20カ所	R10	22カ所	R6	20カ所	中心となる人材が不足していることから、人材育成の取組みも必要。
83	4. 健康・福祉部門	4-2-2	安心して生活できる障がい者福祉の充実	基幹相談支援センターの設置	R5	未設置	R10	設置	R6	未設置	賀茂地域は1市5町での共同設置に向け、市町担当の協議は順調に進んでいる。
85	4. 健康・福祉部門	4-3-1	母子保健対策の充実	1.6歳児健診受診率	R5	100.0%	R10	100.0%	R6	86.6%	目標達成に向け、啓発等を強化していく。
85	4. 健康・福祉部門	4-3-1	母子保健対策の充実	3歳児健診受診率	R5	100.0%	R10	100.0%	R6	100.0%	目標を達成しており、引き続き啓発等を行っていく。
85	4. 健康・福祉部門	4-3-1	母子保健対策の充実	1.6歳児歯科健診むし歯保有率	R5	0.0%	R10	0.0%	R6	0.0%	目標を達成しており、引き続き啓発等を行っていく。
85	4. 健康・福祉部門	4-3-1	母子保健対策の充実	3歳児歯科健診むし歯保有率（3ヵ年度平均）	R3～5	10.3%	R8～10	0.0%	R4～6	12.7%	目標達成に向け、啓発等の強化及び支援体制の整備を図っていく。
85	4. 健康・福祉部門	4-3-1	母子保健対策の充実	3歳児歯科健診むし歯保有率（単年度）	R5	4.8%	R10	0.0%	R6	30.0%	目標達成に向け、啓発等の強化及び支援体制の整備を図っていく。
85	4. 健康・福祉部門	4-3-1	母子保健対策の充実	赤ちゃん訪問実施率	R5	100.0%	R10	100.0%	R6	100.0%	目標を達成しており、引き続き産後1ヶ月以内に訪問し、妊娠期から切れ目ない支援を行っていく。
85	4. 健康・福祉部門	4-3-1	母子保健対策の充実	乳児・妊産婦相談参加者率	R5	93.5%	R10	95.0%	R6	94.7%	僅かに目標達成できなかった。できるだけ多くの方が交流できるよう日程調整・周知を行っていく。

ページ	大分類	施策番号	施策名称	指標名	現状年度	現状数値	目標年度	目標数値	該当年度	実績数値	事業進捗についての担当者意見
85	4. 健康・福祉部門	4-3-1	母子保健対策の充実	幼児相談参加者率	R5	94.8%	R10	95.0%	R6	107.7%	通知をしていない幼児も参加したことから目標値以上を達成。引き続き定期的に事業を実施していく。
87	4. 健康・福祉部門	4-3-2	子どもを取り巻く支援及び環境の充実	地域子育て支援拠点事業の利用意向	R5	43.6%	R10	60.0%	R6	—	5年毎のニーズ調査のため、現時点で数値を把握できないが、LINEプッシュ通知機能などを活用して対象者に周知しており、目標は達成できる見込み。
87	4. 健康・福祉部門	4-3-2	子どもを取り巻く支援及び環境の充実	赤ちゃんの駅（ベビーステーション）協力施設	R5	21箇所	R10	33箇所	R6	21箇所	目標達成のためには、個々の民間施設に対し、設置メリットを説明するなどの工夫が必要。
87	4. 健康・福祉部門	4-3-2	子どもを取り巻く支援及び環境の充実	子ども家庭センター（設置箇所）	R5	0箇所	R10	1箇所	R6	0箇所	目標達成に向け順調に推移している。R8度の設置を目標に検討中。
88	4. 健康・福祉部門	4-3-3	子どものセーフティーネットの推進	子育てに関わる機関の連携会議	R5	15回	R10	15回	R6	15回	目標を達成しており、引き続き会議を開催し、関係機関との連携を密にする。
91	5. くらし・環境部門	5-1-1	道路整備の推進	国道・県道の対策箇所数	R5	4箇所	R5～R10	12箇所	R6	8箇所	目標達成に向け、計画通りに進行している。
91	5. くらし・環境部門	5-1-1	道路整備の推進	橋梁の長寿命化対策箇所数	R5	12箇所	R4～9	20箇所	R6	14箇所	目標達成に向け、計画通りに進行している。
91	5. くらし・環境部門	5-1-1	道路整備の推進	トンネルの長寿命化対策箇所数	R5	2箇所	R4～9	4箇所	R6	2箇所	目標達成に向け、計画通りに進行している。
91	5. くらし・環境部門	5-1-1	道路整備の推進	町道の道路改修箇所数	R5	7路線	R3～7	14路線	R6	12路線	目標達成に向け、計画通りに進行している。
93	5. くらし・環境部門	5-1-2	地域公共交通の維持	自主運行等によるバス路線の見直し	R5	11便	R10	8便	R6	11便	赤字縮減と利便性向上に向け、路線バス運営事業者と協議中。
94	5. くらし・環境部門	5-2-1	上水道施設の維持・整備	配水池等の耐震化	R5	31%	R10	41%	R6	38.4%	目標達成に向け、計画通りに進行している。R6に先川浄水池の耐震化が完成した。
94	5. くらし・環境部門	5-2-1	上水道施設の維持・整備	基幹管路の耐震化（第4水源導水管）	R5	0m	R10	230m	R6	0m	目標達成に向け、計画通りに進行している。R8以降に実施予定。
94	5. くらし・環境部門	5-2-1	上水道施設の維持・整備	非常用発電機の減価償却率	R5	78%	R10	40%未満	R6	80.60%	目標達成に向け、計画通りに進行している。R7に発電機更新予定。
98	5. くらし・環境部門	5-2-3	多様な媒体を活用した情報発信の充実	町ホームページへのアクセス数	R5	208,474件	R10	240,000件	R6	161,568件	情報収集のメインツールがホームページからSNSに移行し、アクセス数が減少していると考えられる。指標の再設定などについて検討が必要。
98	5. くらし・環境部門	5-2-3	多様な媒体を活用した情報発信の充実	行政データの開放 ※公表済みオープンデータ数	R5	26件	R10	30件	R6	26件	目標達成に向け、更に庁内連携を深める必要がある。
98	5. くらし・環境部門	5-2-3	多様な媒体を活用した情報発信の充実	スマートフォン教室開催	R5	36回	R10	40回	R6	42回	目標を達成しており、引き続き事業を実施していく。（スマホ教室36回、困りごと相談会6回）
101	5. くらし・環境部門	5-3-1	ゴミ減量化と環境保全の推進	町の可燃ごみ年間排出量	R5	3,051 t	R10	2,604 t	R6	2,899t	目標達成に向け順調に推移している。
101	5. くらし・環境部門	5-3-1	ゴミ減量化と環境保全の推進	ゴミの資源化率	R5	16.22%	R10	16.71%	R6	15.80%	新聞・雑誌などの紙資源自体が減少したことから資源化率が下がったと考えられる。当面は経過観察。
103	5. くらし・環境部門	5-4-1	温泉資源の活用と施設整備	耐震性の高い管路への更新	R5	90.45%	R10	98.54%	R6	91.70%	目標達成に向け、計画通りに進行している。R6では203m更新を行った。

ページ	大分類	施策番号	施策名称	指標名	現状年度	現状数値	目標年度	目標数値	該当年度	実績数値	事業進捗についての担当者意見
107	6. 行財政部門	6-1-1	持続可能な地域経営	将来、町に残りたい又は戻りたいと考えている生徒の率（中学生）	R5	50.0%	R10	55.0%	R6	50.6%	現状では達成困難のため、学生に向けた町内の働き方の周知や、新たな働き方の提案をしていく必要がある。
107	6. 行財政部門	6-1-1	持続可能な地域経営	将来、町に残りたい又は戻りたいと考えている生徒の率（高校生）	R5	41.7%	R10	45.0%	R6	40.9%	現状では達成困難のため、学生に向けた町内の働き方の周知や、新たな働き方の提案をしていく必要がある。
107	6. 行財政部門	6-1-1	持続可能な地域経営	まちづくり交付金交付団体の数	R5	5団体	R10	7団体	R6	5団体	目標達成に向けては、団体の中心的役割を担う新たな人材の育成が必要。
108	6. 行財政部門	6-1-2	男女共同参画の推進	町の委員会などに占める女性委員の構成割合	R5	21.7%	R10	30.0%	R6	25.2%	教育関係の委員会において割合が増加したが、目標達成には、更なる啓発等が必要。
111	6. 行財政部門	6-2-1	身近な行政サービスの推進	町税徴収率	R5	95.9%	R10	99.0%	R6	96.02%	昨年度より向上したが、目標達成のためには、更なる取組みが必要。
111	6. 行財政部門	6-2-1	身近な行政サービスの推進	職員研修の実績(専門分野研修)	R5	40人	R10	45人	R6	37人	目標達成に向け、職員研修の計画を策定していく。
113	6. 行財政部門	6-3-1	健全な行財政	実質公債費比率(3カ年平均)	R5	4.3%	R10	10.0%以下	R6	4.4%	前年度より0.1%上昇したが目標値は達成しており、引き続き健全で良好な財政運営に努める。
113	6. 行財政部門	6-3-1	健全な行財政	将来負担比率	R5	数値なし	R10	50.0%以下	R6	数値なし	前年度と同様に目標値を達成しており、引き続き健全で良好な財政運営に努める。
113	6. 行財政部門	6-3-1	健全な行財政	経常収支比率	R5	81.7%	R10	83.0%以下	R6	81.7%	前年度と同様に目標値を達成しており、引き続き健全で良好な財政運営に努める。
115	6. 行財政部門	6-3-2	ふるさと納税の取組み	ふるさと納税の寄附件数	R5	54,946件	R10	60,000件	R6	39,288件	物価高騰等により生活防衛のための返礼品に寄附が集まる傾向がみられる。更なるPRが必要。
115	6. 行財政部門	6-3-2	ふるさと納税の取組み	ふるさと納税の寄附金額	R5	800,326,500円	R10	1,000,000,000円	R6	656,845,000円	物価高騰等により生活防衛のための返礼品に寄附が集まる傾向がみられる。更なるPRが必要。
115	6. 行財政部門	6-3-2	ふるさと納税の取組み	ふるさと納税の提携企業数	R5	64件	R10	70件	R6	70件	目標値を達成。R6からふるさと納税応援ギフトカードを導入し、取り扱う提携企業が増加した。
116	6. 行財政部門	6-4-1	公有財産の適正管理	公共施設の最適化による縮減	R5	延床面積 47,225 m ²	R12	延床面積 30,833m ²	R6	延床面積 47,225m ²	公共施設の統廃合や、建物の民間譲渡・解体は慎重に進める必要があり、計画通りに進んでいない。